

高等学校地理歴史科（世界史）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

| 問題番号 | 正 答 | [例] | 採 点 上 の 注 意 | 配 点 |
|------|-----|-----|-------------|-----|
| 1 | 1 | 1 | | 6 |
| | 2 | 5 | | 6 |
| | 3 | 3 | | 6 |
| | 4 | 4 | | 6 |
| | 5 | 4 | | 6 |
| | 6 | 7 | | 6 |
| | 7 | 5 | | 6 |
| | 8 | 1 | | 6 |
| | 9 | 8 | | 6 |
| | 10 | 3 | | 6 |
| | 11 | 7 | | 6 |
| | 12 | 2 | | 6 |
| 2 | 1 | 5 | | 8 |
| | 2 | 3 | | 8 |
| | 3 | 1 | | 8 |
| 3 | 1 | 4 | | 8 |
| | 2 | 2 | | 8 |
| | 3 | 8 | | 8 |
| 4 | 1 | 4 | | 8 |
| | 2 | 3 | | 8 |
| | 3 | 8 | | 8 |

高等学校地理歴史科（世界史）採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

| 問題番号 | 正 答 (例) | 採 点 上 の 注 意 | 配 点 | |
|------|--|---|---------------------------------|----|
| 5 | <p>学校図書館や地域の公共施設などを活用するとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用し、指導に生かすことで、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする。その際、課題の追究や解決の見通しをもって生徒が主体的に情報手段を活用できるようにするとともに、情報モラルの指導にも留意する。</p> | <p>内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</p> | 12 | |
| 6 | 1 | <p>資料Ⅱから、アクバルがラージプート諸侯であるアンベール王と婚姻関係を結び、王やその一族を帝国統治に参加させたことが分かり、資料Ⅲから、ヒンドゥー教徒であるラージプート諸侯がアクバルに謁見するために列をなしている様子が見て取れ、多くのラージプート諸侯がアクバルに服属していたことが分かる。このようにアクバルの統治政策は、「普遍的な和解」を理念として、様々な民族や階層に対して差別的な措置をとらず、在地勢力と良好な関係を築くことにより、人口のうえて多数を占めるヒンドゥー教徒の服属を促し、帝国統治を安定させるものであった。</p> | <p>内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</p> | 8 |
| | 2 | <p>資料Ⅳから、アクバル治世の終わり頃に既にマンサブダールへの俸給が財政を圧迫していたことが分かる。また、資料Ⅴから、領地の拡大によりマンサブダールが増加していることが分かり、資料Ⅳと併せて考えると俸給や分与地の不足が財政をさらに圧迫したことから、ジズヤを復活させることにつながったと考えられる。また、資料Ⅵから、アウラングゼーブが熱心なイスラーム教徒であることが分かり、ヒンドゥー寺院を破壊するなど宗教的に不寛容な姿勢をとったと考えられる。</p> <p>これら異教徒を圧迫する諸政策は、ラージプート諸侯やマラーター族など、インドの多数を占めるヒンドゥー教徒の不満を高めることにつながり、反乱が頻発したと考えられる。</p> | <p>内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</p> | 12 |
| 7 | 1 | <p>資料Ⅰから、農民たちが生産物の一部を納める貢納の義務や、領主直営地での賦役の義務が課されていたことが分かる。</p> <p>さらに、資料Ⅱから、死亡税や領外結婚税が課され、結婚・相続の自由が制限されていたこと、またワインの購入や、パン焼き竈・ぶどう桶・圧搾機の使用が強制され、経済活動の自由も制限されていたことが分かる。</p> <p>これらのことから、教会や修道院が領主として土地を所有し、それに付随する農村及び農民を、経済的に支配するとともに、人格的にも支配していたことが、中世フランスにおける荘園制の特徴であった。</p> | <p>問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。</p> | 12 |
| | 2 | <p>まず、資料Ⅲを示して、百年戦争が長期化するとともに、ペストがたびたび流行していることを読み取らせ、これらにより農村人口が激減し、労働力不足が発生したことに気付かせる。その上で、資料Ⅳより、14世紀に農業労働賃金が急上昇していることを読み取らせ、領主が農業労働力を確保するために農民の待遇改善をはかったことや、そのことが領主の経済的困窮を招いたことに気付かせる。</p> <p>次に、資料Ⅴより、最初のペスト大流行後に、違反者への罰則規定を設けた労働者条例を制定し、賃金上昇を抑制したり、賦役を強化しようとしたことを読み取らせ、領主が封建的支配を復活させることで、労働力不足と農業労働賃金の高騰による経済的な困窮を克服しようとしたことに気付かせる。</p> <p>また、資料Ⅲより、百年戦争の長期化と、1370年代の戦況悪化に伴い、3度にわたって人頭税を課したことを読み取らせ、戦費確保のために戦時課税が行われたことに気付かせる。</p> <p>これらのことを関連付けさせ、労働者条例や人頭税などの農民への圧迫が農民の反発を招き、ワット＝タイラー等に率いられた反乱につながったことに気付かせる。</p> <p>その上で、反乱の背景となる社会変動について考察させ、農民の待遇改善により農民の地位が向上することで農奴制が崩壊したり、反動封建に反発する反乱が起きて領主権が否定されたりすることなどを通して封建制が動揺したことを理解させる指導を行う。</p> | <p>問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。</p> | 12 |